



## 祝 新成人特集号

# ハヤマのハタチ!

1月13日、福祉文化会館で成人式が開催されました。今年の新成人は263人、そのうちの8割にあたる217人が式典・祝賀会に参加しました。

晴れ着に身を包んだ今時の20歳（ハタチ）はどんなことを考えているのでしょうか。今月は「ハヤマのハタチ」を代表して、成人式実行委員の皆さんに、感謝と決意の手紙を書いてもらいました。あなたが20歳の頃はどんな大人を想像していましたか、これから20歳を迎える人はどんな大人を想像していますか。そんなことを思い浮かべつつ、等身大で素直なメッセージをご覧ください。

## 尊敬する三歳上の兄へ

なんとなく照れくさいので、  
日ごろから感謝の気持ちを表現  
できていませんが、ハタチに  
なった今の気持ちを手紙にしま  
す。僕は小さい頃からあなたの  
後ろをついて、博物館に行っ  
たり、海やプールで泳いだりす  
ることが大好きでした。大人しく  
て目立たない子どもだったの  
が、中学校に入ってからたくさんの  
友達ができ、明るい性格になれ  
たのも、あなたのおかげだと思  
います。そして、「何かをやる  
時には、自分を否定することか  
ら始めるんだよ」と言われたこ  
とを覚えています。言われた当  
時はよくわからなかったけれ  
ど、大学生になった今、それは  
「自分を甘やかしていたら成長

できない」という意味  
だと理解できました。

まだまだ二十歳、大

学の勉強や社会勉強、これから  
も色々と壁にぶつかると思っけ  
ど、いつもこの言葉を胸に、立  
派な大人になりたいと思いま  
す。ハタチになったことだし、  
久しぶりに二人で外に出て、飲  
みに行きませんか。バイト代で  
ごちそうします!



▲屋久杉の前で兄と

山浦 廉さん

大学で経営システムを勉強中!

## ハタチの手紙 ～感謝、そして決意～

### 大好きなおばあちゃんへ

車で送り迎えをしてくれ  
り、お母さんやお姉ちゃん  
んかした時はかまってくれ  
り、いつも本当にありがと  
う! おばあちゃんも忙しかったり、  
健康に気をつけたりしないとい  
けないのに、つつい甘えてば  
かりでごめんなさい。こんな甘  
えん坊の私も、4月には就職し  
て社会人になります。就職活  
動中も履歴書の内容を見てくれ  
り、夜遅くまで勉強していたら  
夕食を出してくれたり、色々  
とお世話になりました。お姉  
ちゃんとは、「そのお礼で、お給  
料が出たらおじいちゃん、おば  
あちゃんと一緒に温泉旅行を  
したいね」と話しているんだよ。  
ハタチを一区切りの年とし

て、社会に出ても家の中でも、  
少しずつ自立して、いっぱい恩  
返しします。いつか私もおば  
あちゃんのように孫を甘やかせる  
よう、これから色々な勉強、経  
験を重ねていきたいです。だ  
かいらいつまでも元気で私の成長を  
見守っていてね。



▲家族みんなで食事会

松村 沙恵さん  
この春から社会人♪



相川舞美子さん  
休みの日もランニング♪

## 陸上魂を育ててくれた先生へ

陸上を10年以上続けている私ですが、こんなにも熱中できたのは先生のおかげだと思っています。水落先生は南郷中学校の陸上部顧問で、第一印象は「駅伝に厳しい熱血先生」でした。私は長距離が苦手でしたが、先生の「駅伝やってみないか？」という一言で始め、いつの間にか駅伝が大好きになっていました。練習は厳しいこともありましたが、先生が勇気付けてくれた言葉、後押ししてくれたことは未だに私の陸上魂の根っこになっています。

加や手伝い、応援に行くことがありますが、葉山の美しい自然の中で陸上を楽しむのは特別なことだと感じます。そしてそれをより多くの人にも感じてもらえるよう、これからはそんな活動をしたいです。

二十歳を迎えた今、私も先生のように、熱く指導できる大人になりたいと思い始めました。今も町や県の駅伝大会で、参



▲大会後、トロフィーを持って

## ハタチの手紙 ～感謝、そして決意～

### 支えてくれた仲間たちへ

僕は小学校からずっとバドミントンをやってきて、高校の部活でも比較的目立つ存在、正直調子に乗っていたこともあったかなと今反省しています。しかしそんな僕に対しても、部活のみんなは優しく接してくれました。僕がちよつとした問題を起こして、選手から外された時、励ましてくれた友達がいいます。「自分が強ければ勝つ、弱ければ負けるだけ」とスタンドプレイを気取っていた時も、試合の応援に駆けつけてくれた友達がいいます。あの時本当はみんな受験勉強で忙しい時期だったんだよね。今になって思い返すと、自分一人で頑張るといっている思い込みで、みんなの支えが

あつたから頑張れたんだと思います。ハタチになって気付くのは少し遅かったかもしれませんが、これからは僕が友人や家族、周りの人に優しく、いざという時に支えてあげられる、そんな大人を目指します。



▲バドミントン部の恩師と仲間



原 和也さん  
バドミントン歴10年！

# 平成26年 葉山町成人式の様子

広報はやま2月号



▲晴れ着姿で友人と記念撮影



▲新成人を代表した誓いの言葉に拍手が



▲恩師からの言葉で盛り上がる会場



▲スライドショーで昔の写真を見ながら思い出話



▲中学校の恩師と友人、5年ぶりの再会



▲集合写真は町HPから見られます



▲20年前の葉山町成人式、当時は落ち着いた色の着物に真っ赤な口紅が流行していたようです

そんな明るい時代に生まれた今年の新成人、式も明るく賑やかなものになりました。式典では、小学校の恩師から「みんなが静かに座って話を聞いている、本当に大人になったね」と声をかけられ笑いの起きる場面があったり、集合写真でもすぐに撮影できる姿勢をとったりと、非常に団結力のある新成人だなと感じました。これからも明るい未来を担う存在として輝き続けてください。(取材：高野)

今年の新成人が生まれた1993年、日本ではサッカーの「Jリーグ」が開幕した年、また皇太子殿下がご結婚された年です。その頃の葉山町は、ハマFM(現・湘南ビーチFM)の開局や湘南国際村のオープンと明るいニュースの多い年でした。

成人式コラム  
「20年前の葉山町」

# 第13回 平和標語 コンクール

## 認め合い 許す心で

## 広がる未来

### ✦ 非核平和都市宣言

葉山町では、議会が昭和58年3月22日に、町が平成4年11月1日に、非核平和都市宣言をしています。

「世界で唯一の被爆国日本。私たちは長崎、広島の皆さんの苦悩を決して忘れることはできません。葉山町は、恒久平和を願い、『核兵器を持たず、造らず、持ち込ませず』の非核三原則を堅持し、この美しい海と緑と平和な生活を永遠に伝えるため、ここに非核平和都市であることを宣言します。」(非核平和都市宣言より抜粋)またさらなる平和を願い、一昨年には、平和市長会議(現・平和首長会議)へ加盟しています。

非核平和の推進を目的として、中学生を対象に非核・平和・人権に関する標語を募集したところ、15人から28点の応募があり、優秀作品に入賞した生徒が町長室を訪問しました。

### ✦ 「許す」ということ

町長「標語を作った時、どんなことを思い浮かべましたか。」

鎌上「平和、と聞いて思い浮かんだのは『許す』の言葉。何か争いごとが起きた時に他人を許す、自分を許すことは難しいけれど、大切だと思います。そのいつも感じている『人を・自分を受け入れる』ことを標語にこめました。今まで交通安全標語やあいさつ標語で入賞したことがあったので、今回も入賞できて嬉しい。普段は、身近な人にあいさつしたり、気持ちよく話しかけたりすることを心がけています。」



**金 賞**  
鎌上 櫻さん  
(南郷中1年)



**銀 賞**  
和田 颯太さん  
(葉山中1年)

### ✦ 笑顔で仲直り

和田「世界には紛争が多いと社会の授業で習い、平和のために自分も力になれることがあればと思って、標語を作りました。紛争は身近ではないけど、自分たちに置き換えたら『友達とのけんか』かな。仲直りするには、笑顔だ!と思いついたんです。」  
町長「和田さんの標語にある『笑顔が世界を変えていく』という言葉は本当にそのとおりだと思いますよ。初めは笑顔を作ることからでもいい、笑いあえばけんかなんて忘れてしまいそうですよね。」





**銅賞**  
原 郁磨さん  
(葉山中2年)

### 自然豊かなこの町が好き

原「僕は、海も山も自然いっぱいな葉山が好きです。周りの人も良い人ばかり。そんな自分の町の平和を守りたいという気持ちで応募しました。《平和都市》としたのは単純にかっこいい言葉だと思ったから。その平和都市を守るには、海岸のごみ拾いなどの環境活動から取り組みたいと思います。きれいで過ごしやすい葉山を、僕たちの手で守りたい。」

町長「《平和都市》というキーワードが素晴らしいですね。町外の人が見ても、自分たちの住むところを想像できるんじゃないかな。」

### 平和を目指して

町長「それでは平和を目指すにはどうすればいいでしょう。」

和田「食べ物が少ないことなどで争っている国や地域を見ると、持っているところが分けてあげれば良いだけなのにと感じます。みんなで分

け合うこと、

地球の環境に

逆らわないこ

となどが平和

につながると思

う。」

町長「身近な

ところで、け

んかで考えてみたらどうでしょう。

例えば、友達が自分の悪口を言っ

ているみたいだと知ったら、そこで

ぐけんかしてしまいますか。」

原「僕だったら、すれ違いがないよ

うに、本当のことを確認するかな。

誤解があるかもしれないし。」

鎌上「私も直接会って話し合いたい

と思います。相手も自分もいやな思

いをするのは避けたい。」

町長「皆さんすぐくしゃっかり考

えていますね。そのとおりです、分け合

う気持ち、思いやり、それを伝える

には会って話すことが一番。メール

や電話といった便利なものはたくさ

んあるけど、直接会って話し合う。

私はその話し合いこそが平和につな

がる一歩だと思っています。このこ

とを忘れず、皆さんにはこれから

町の平和、自分たちの平和について



## 平成25年度 平和標語コンクール 受賞作品 (敬称略)

### ◆金賞

認め合い 許す心で 広がる未来

鎌上 櫻 (南郷中学校1年)

### ◆銀賞

ぼくたちの 笑顔が世界を 変えていく

和田 颯太 (葉山中学校1年)

### ◆銅賞

守りたい 笑顔のこぼれる 平和都市

原 郁磨 (葉山中学校2年)

### ◆佳作 (50音順)

小さな小さな幸せに気付いて拾う 小さな平和

佐藤しおん (葉山中学校2年)

自分からは、やってきてくれない 平和への入口。

高橋 里音 (葉山中学校1年)

優しい心 あたたかい気持ちが 葉山の平和

中嶋 花菜 (葉山中学校2年)

おはよう、この一言で今日が始まる

仲野 寛来 (葉山中学校2年)

いじめをね やるな やらすな みすごすな

松島 匠 (葉山中学校1年)